



AIIC

粘菌の会 会報



第6号

2019年10月1日発行

釋藏院



9月9日未明、台風15号の到来は今までに無い災害…となり、私たちの生活に影響を与えました。上総国府という文化遺産のある市原市の神社や寺院にもその被害が及びました。空高く神木として見上げていた樹々の無残な姿は胸痛むものです。しかし古木となり地上に横たわるその姿からは、新年の春は「粘菌の杜」「粘菌自然博物館」として生まれ変わりますよ! と語りかけているように思われます。朽ちていく樹々も粘菌達の安住の地となり、パラダイスとなり、やがて私たちを迎えてくれることでしょう!! 粘菌の季節が待たれます。

秋の観察会

9月28日(日) 市原市能満地区

・釋藏院本堂にて

弘法大師空海によって開創の寺院
1300年の歴史を学びました

・寺院周辺の粘菌探し

<ススホコリ> <?> 発見!

☆「市原の歴史を知る会」の榎本悦さん

この土地に生まれ、小学生時代
母親から聞いたという、お話など
懐かしそうに語ってくれました。
粘菌観察が地域と一体となり、一層
充実をしたようです。

地元の方の協力は
本当に
ありがたいです。



行事予定

10月 5日(土) 定例会

20日(日) エコメッセ2019in ちば
幕張メッセ国際会議場

☆出展します。10時~16時

粘菌の紹介と顕微鏡観察等 入場無料

府中日吉神社 境内(県指定重要文化財)

📷 56mの風速にも堂々と耐えた保存杉の前にて

文責 中村(良)